

各部課長様

川越市長 川合善明

平成23年度予算編成方針について（通知）

平成23年度の当初予算編成にあたり、「川越市予算の編成及び執行に関する規則」第6条の規定に基づき、下記のとおり「平成23年度予算編成方針」を策定したので通知する。

記

1 現下の経済情勢と国の財政運営の基本方針

現下の我が国の経済情勢は、平成22年9月の内閣府の「月例経済報告」によれば、「景気は、引き続き持ち直してきており、自律的回復に向けた動きもみられるが、このところ環境の厳しさは増している。また、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。」としている。また、先行きについても、「景気の自律的な回復へ向かうことが期待されるものの、海外景気の下振れや為替レート・株価の変動などにより、景気が下押しされるリスクが強まっていること、及びデフレの影響や雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である」として、依然として不安定な状況にあるとしている。

このような状況の下、国では「財政運営戦略」を踏まえつつ、新成長戦略を着実に推進することで「元気な日本」を復活させるために取り組むこととしている。

また、8月末には平成23年度予算の概算要求が各省庁から提出されたが、その際の基準である「予算の概算要求組替え基準」では、ムダづかいの根絶の徹底や不要不急な事務事業の大胆な見直しにより新たな政策・効果の高い政策に財源を重点配分することとしている。

現時点では、国の予算編成過程であることから内容の詳細は不明であるが、国の予算編成は地方公共団体の予算編成においても大きな影響を与えるものであることから、その動向を十分注視していく必要がある。

2 地方財政を取り巻く環境

地方行政については、国民生活に密着した行政を担い、その内容は多岐に及んでいる。また、その財政規模は、国の財政と並ぶ車の両輪として極めて重要な地位を占めている。

また、今後についても、地域主権の推進や地域福祉の充実など地方公共団体が担うべき役割はますます重要なものとなるとともに地方財政の健全化も求められている。

しかしながら現下の地方財政は、これまでに行った減税による減収補てんや景気対策等のための地方債の増発により借入金残高が、平成22年度末には約200兆円に達すると見込まれていることなどから、今後、その元利償還が地方財政を圧迫する要因となることが懸念されている。

「平成23年度地方財政収支の8月仮試算」をみると、全体で前年度に対して微増となっている。なお、歳出の増加要因は、社会保障費によるもので、歳入の増加要因は地方税等の増加を見込んでいる内容となっている。当該仮試算では、前年度に対して地方税等の増収を見込んではいないものの、社会保障費等の一般行政経費はそれ以上に増加していることから、地方財政は引き続き厳しい状況にあると見込まれているところである。

3 本市の財政状況

本市の財政状況を平成21年度の決算状況でみると、歳入については、財源の根幹である市税収入は景気の低迷等の影響により、前年度対比で約17億7千万円の減となるなど、自主財源は前年度に対して減少している。一方、新清掃（資源化）センター建設事業などの大規模建設事業の実施により依存財源である国庫支出金や市債が大幅に増加している。

また、歳出については、大規模建設事業の実施による投資的経費の大幅な増加に加え、公債費は減少したものの、職員退職手当の増加による人件費の増加や扶助費の増加により義務的経費が増加している。

こうした歳入歳出の状況から、80%を超えると財政構造が弾力性を失いつつあるとされる経常収支比率は、95.3%、前年度に比べ3.8ポイントと大幅に上昇し、直近の3年間でも8.8ポイント上昇しており、憂慮すべき状況と言わざるを得ない。

更に、一般会計の市債残高も年々増加し、平成22年度9月補正予算後では約884億円になると見込まれており、資源化センターの本格的な償還の始まる平成24年度以降は元利償還金の大幅な増加が予定されることや今後予定されてい

る大規模事業に伴う起債額を考え合わせると、近い将来、本市の財政運営に大きな影響を与えることが懸念されるところであり、今後市債の活用についても従前以上に慎重な対応が求められるところである。

なお、本市の平成22年度当初予算においては、やむを得ず多額の退職手当基金の繰替運用等により歳入と歳出の均衡を図ってきたところであるが、基金残高も減少しており、今後このような運用には限界があるものと考えられる。

また、平成22年度の普通交付税については、前年度に引き続き市税収入の落ち込みが見込まれることなどから、5年ぶりに普通交付税が交付されることとなったが、財源面における自立性は弱まっているといわざるを得ない状況である。

4 平成23年度の財政収支の見込み

本市の平成23年度の財政収支見通しの試算によれば、歳入については、その根幹をなす市税が前年度に引き続き減少する見込みであり、とりわけ個人市民税は景気の低迷や雇用環境の改善が見込まれないこと等により税収減に大きく影響している。このようなことから平成23年度は、普通交付税を見込むこととしているが、一般財源は前年度を下回る状況となっている。

一方、歳出については、人件費が退職者数の減少等により今年度を下回るものの、少子高齢化等に対応するための扶助費や特別会計への繰出金については引き続き増加するものと見込まれている。

結論として、現在のところ仮に実施計画事業費を中心とする投資的経費に投下できる一般財源を平成21年度の中期財政見通しと同様の40億円を確保することとした場合、約34億円余の歳入歳出のかい離額が生じるものと見込まれているところである。

5 平成23年度の財政運営の基本的な姿勢

平成23年度の予算編成・財政運営にあたっては、前述したように厳しい財政状況下であっても現在策定している平成23年度を初年度とする「第三次川越市総合計画・後期基本計画」を着実に推進することを視野に入れ、住むことに誇りを持ち、住んでよかったと思えるまちを目指すこととする。そのためには、引き続き「健全で効率的な行財政運営の推進」を基本的な目標に掲げ、持続可能な財政構造を構築することが必要不可欠である。

健全で持続可能な財政運営を実現するための基本的な考え方として、「集中改革プラン」に掲げられている取組項目について引き続き実施していくことなどにより、財源の確保と徹底した歳出削減を早急に図るとともに、真に必要な施策に

財源を適正配分し、限られた財源の中で事業の重点化・効率化を図る予算の編成及び執行を行うこととする。

なお、平成23年度予算において重点的に推進する主な施策については、次に掲げる項目とする。

- (1) 未来につなぐひとづくり
 - ① 子育て支援の充実
 - ② 健康づくりの推進
- (2) 活力と魅力あふれるまちづくり
 - ① 交通渋滞の解消
 - ② 都市基盤整備
- (3) 快適で安心できるくらしづくり
 - ① 学校施設等公共施設の耐震化推進
 - ② 市民生活関連施設の整備

6 平成23年度予算編成に係る基本方針

以上のことを踏まえ、平成23年度予算編成に係る基本方針については、原則として以下のとおりとする。

(1) 「第三次川越市総合計画」の推進

現在、平成23年度から27年度までの「第三次川越市総合計画・後期基本計画」を策定中であるが、当該計画における基本構想の理念や将来都市像である「ひと、まち、未来、みんなでつくる いきいき川越」の実現に向け、総合計画に掲げる計画事業の着実な推進を図ることとし、前述した重点的に推進する施策や実施計画の内容等を踏まえながら、より優先度の高い事業への財源の重点配分を行うものとする。

なお、実施計画対象事業の予算の積算にあたっては、政策企画課から内示される事業については、当該内示額を上限とし、改めてその事業効果、事業規模、実施時期、優先順位、後年度負担の状況等を精査した上で予算要求するものとし、合わせて、新規事業の実施にあたっては、その事業の必要性、効果等を十分に検討した上で、スクラップアンドビルドの観点から、既存事業の見直しを徹底して行う中で当該事業の所要財源の確保を図るものとする。

(2) 部局主体の予算編成枠

部局主体の予算編成枠は、限られた財源の中、「第三次川越市総合計画」に掲

げる諸施策及び市民要望に基づく諸事業を着実に展開していく上で、事務事業の緊急度・重要度を最も把握し得る立場にある各部局長の要求をより尊重しようとするため、各部局に割り振られる予算枠であり、各部局は枠創設の意義を理解して主体的に部局の予算編成に取り組むものとする。

① 部局主体の予算編成枠の対象となる事業は原則として次のとおりとする。

(ア) 実施計画事業（政策企画課から内示される事業のみ）以外の事業

(イ) 人件費、扶助費、公債費及び繰出金に係る事業以外の事業

② 部局主体の予算編成枠は、財政課が各部局に示す一般財源の額とする。

なお、この額は平成22年度当初予算額から人件費、公債費、特定の臨時的経費等を除外した予算額に係る一般財源の前年度比5%減の額とする。

③ 部局長は、主体的に、かつ、責任をもって部内各課の要求内容を精査し、予算編成枠の枠内において各課の要求額の調整を図った上で、予算要求書を提出すること。

④ 事業量については、補助金等の特定財源の有効活用、積算単価の見直し等によりその拡大に努めること。また、事業手法についても既成の概念にとらわれることなく、創意工夫に努め、一層の効率化を図ること。

(3) 行財政改革の推進

市政方針で「行財政改革の必要性」について言及したように、多様な行政需要に対応するためには、事業の必要性や効果を十分見極めた上で、大胆に見直しを行い、将来の世代に過度な負担をかけないためのしくみづくりに引き続き取り組む必要がある。また、一段と厳しさを増す財政状況を踏まえると、徹底した行財政改革を早期に行う必要があることから、新年度予算には事業等の見直し内容を反映させること。

具体的には、持続可能な自治体運営の確立に向け、「集中改革プラン」及び「集中改革プラン実施プログラム」に掲げられた取組項目については、以下に示す項目を含め、その目標の達成に向けて積極的に取り組み、その結果を予算見積りに反映させること。

特に、経常的な事業については義務的経費も含め、事業全般について見直しを行うとともに、「民間委託の推進に関する指針」に基づき民営化・民間委託等の可能性を検討する等、経費の節減・合理化を図るものとする。

(4) 予算要求にあたっての留意点

① 国の財政運営（予算編成）の動向

国では、平成23年度予算について「新成長戦略」（平成22年6月18日閣議決定）を着実に推進し、元気な日本を復活させるために予算配分を省庁を超えて大胆に組み替えることとした「平成23年度予算の概算要求組替え基準について」（平成22年7月27日閣議決定）に基づき、予算の構造改革を行うこととしている。

中核市である本市は、積極的に国庫補助負担金を確保することが可能であり、また、財源面でも必要不可欠であることから、制度改正の内容等、国の動向について十分に把握するとともに、当該予算編成に的確に反映させること。

② 補助金支出の見直し

補助金の支出は、経常収支比率を上昇させる要因の一つとなっていることから、各種事業・団体等に交付する補助金については、それぞれの補助制度創設の原点に立ち返り、補助金支出の根拠となる公益性及び効果・必要性等について改めて検証し、引き続き補助制度の廃止または統合、補助率、補助額等の見直しを行うものとする。

なお、補助金の予算要求については、「平成21年度包括外部監査の結果報告書」の外部監査の結果と意見事項を踏まえ、適切に対応すること。

③ 公共工事のコスト縮減等

公共工事については、「川越市公共工事コスト縮減対策に関する行動計画」を徹底し、安全性、信頼性を確保しつつ、事業の目的や効果を損なわない範囲での施設規模・設備内容などの見直しに努め、全工事を対象としたコストの縮減を図るものとする。

また、公共工事の実施に当たっては、当該事業の有効性や計画的な実施が確保されているかなど再度確認すること。

委託業務については、平成22年8月11日 川財発第114号をもって通知したように業務内容及び事業者の見積内容の精査等を行ない、予算要求額の縮減に努めるとともに、当該予算編成に反映させること。

④ 扶助費関連支出の見直し

少子高齢化等により今後も引き続き増加が見込まれる扶助費については、市単独事業や国・県制度を拡充している「いわゆる上乗せ、横出し事業」を中心に、真に福祉を必要とする人に対する給付となっているか、その有効性

や適格性を客観的に判断するなど制度全般を見直すこととし、その積算に当たっては、国制度等の見直しや高齢化等の自然増を踏まえつつ、抑制を図るものとする。

⑤ 外郭団体等に係る予算

外郭団体等に係る補助金、業務委託料等の予算要求については、当該団体の業務内容、財政状況等を再確認し、そのあり方及び事業手法等についての見直しを主体的に行い、その結果を当該予算編成に反映させこと。

また、外郭団体等が積極的に自主財源の確保に努め、経営の健全化・安定化を図られるように働きかけること。

⑥ 特別会計等に係る予算

特定の歳入をもって特定の歳出に充てる「独立採算」を基本とする特別会計の予算については、適正な受益者負担を前提とした歳入の確保に努めるとともに、適正な事業の運営を図り、一般会計からの繰入金の抑制に努めるものとする。

⑦ 財源の確保

歳出予算の財源として歳入予算の裏づけが不可欠であることを再認識し、積極的な特定財源の確保に努めるものとする。

国庫・県支出金については、国及び埼玉県の予算編成の動向等に的確に対応することとし、国の経済対策で設置された基金事業の活用など積極的にその確保に努めるものとする。

また、市税、負担金等の自主財源の確保に当たっては、市民負担の公平性の確保及び受益者負担の適正化の観点から、全力を上げて取り組むものとする。

なお、公の施設の使用料については、「公の施設の使用料設定にあたっての基本方針」に基づき、定期的な検証を行うとともに、減免基準等を見直しなど適正な使用料の確保を図るものとする。

⑧ その他

予算編成の詳細については、別途通知する「平成23年度予算編成事務要領」によるものとする。